

Active Work Place研究会

～健康と生産性を両立した活力ある職場を目指して～

健康いきいき職場づくりフォーラム

開催のご案内

企業をはじめ、組織のメンタルヘルスケアに対する取り組みは、仕組み作り、担当者の知識向上等において進みつつあります。しかし、現場での問題が解決し、職場のメンタルヘルスが向上しているとは必ずしも言えないのが現状です。職場のメンタルヘルス向上や職場の活力向上のためには、これまでとは違ったアプローチが必要とされています。

「健康いきいき職場づくりフォーラム」では、これを個人の問題だけにせず、組織全体の問題として取り組むことに解決の糸口があると考えます。そこで、これまでと違うアプローチを進めるため、「Active Work Place研究会」を開催いたします。

「Active Work Place研究会」では、健康でいきいきとした職場づくりを目指す組織の方々を中心に、自組織で何をすべきかを検討し、会期を通して職場で実践することを支援してまいります。

メンタルヘルスケアのこれまでのアプローチ

これからのアプローチ

対象 個人

領域 労働安全衛生体制、産業保健活動、休業補償制度 etc.

部門 健康管理部門、安全衛生部門

対策 法的リスクマネジメント
(労働時間、休職制度 etc.)

組織

企業の経営方針、人事評価制度、企業風土、文化 etc.

経営企画部門、人事部門、健康管理部門、安全衛生部門、各職場 etc.

職場活性化、管理職のリーダーシップや公正な態度、職場の信頼相互理解、経営層と従業員との信頼関係、多様性の受け入れ etc.

Active Work Place研究会とは？

新しいアプローチでのメンタルヘルスケアを実践するため、東京大学大学院医学系研究科精神保健分野の川上憲人教授の推進する「健康いきいき職場モデル」を組織内において実現することを目指した研究会です。

- 川上教授、同教室の島津明人准教授から情報提供・問題提起をいただきながら、参加メンバー企業が相互に自組織の課題を話し合い、Active Work Placeを目指して活動します。
- 会期(1年間)を通して、研究会(情報を得、考え、企画する場)と、職場(実践の場)を往復することにより、職場の問題解決に対してリアリティを持って活動します。
- 研究会を通して、健康いきいき職場づくりのための「行動計画」をアウトプットとして策定します。
- 健康と生産性を両立する活気ある職場づくりを目指す「ポジティブアプローチ」の立場から活動します。
- 本研究会は、個別組織のコンサルティングの場ともなるため、1期につき10組織限定で実施致します。



公益財団法人 日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

研究会概要

会期: 2013年5月～2014年5月

対象: 企業の経営企画部門、人事部門、健康管理部門、安全衛生部門、労働組合幹部、各職場のリーダー

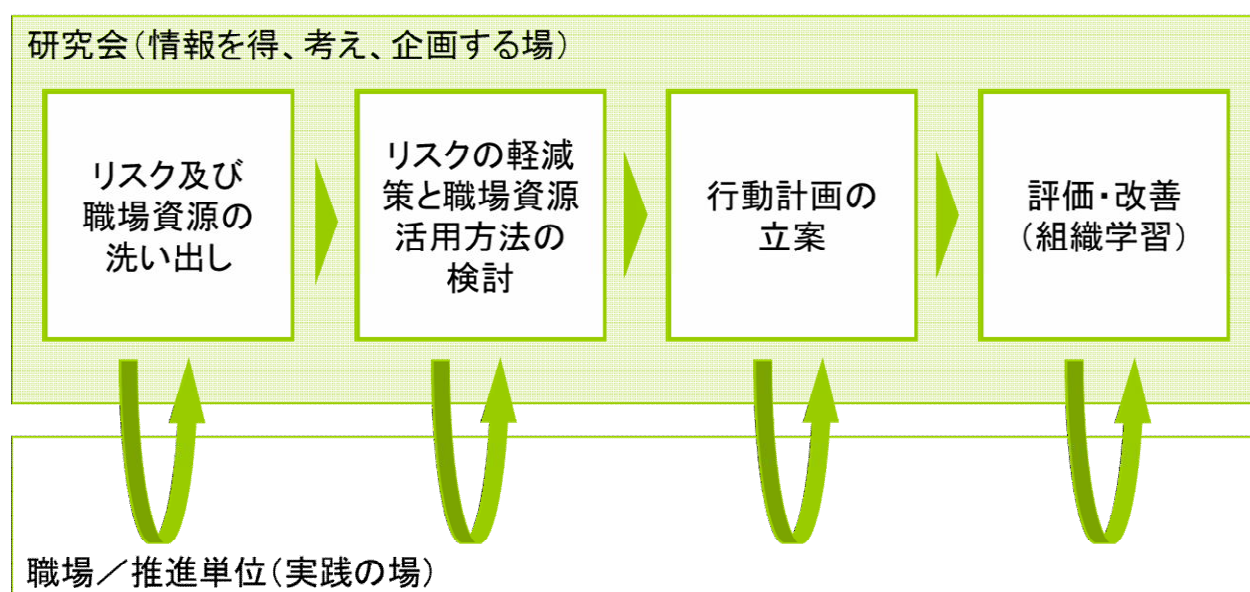
人数: 1組織より2名

募集組織数: 10組織限定

会場: 日本生産性本部ビルセミナー室(東京・渋谷)、経営アカデミー教室(東京・丸の内)、生産性国際交流センター(神奈川・葉山) ほか

研究会の進め方

参加者(組織)自身の職場を対象に、以下のステップを、研究会と職場を往復しながら進めます。



コーディネーターのご紹介

東京大学大学院
医学系研究科精神保健学分野
教授 川上憲人 氏

専門: 職場のメンタルヘルス、地域の精神保健疫学、行動医学
最近の研究テーマ: 職場のメンタルヘルスの第一次予防の新しい推進枠組み、
職場のストレスの評価、健康影響、対策の評価、世界精神保健
調査、社会格差と健康



東京大学大学院
医学系研究科精神保健学分野
准教授 島津明人 氏

専門: 臨床心理学、健康心理学、産業精神保健
最近の研究テーマ: 個人と組織の活性化、ワーク・エンゲイジメント、
ワーク・ライフ・バランス、余暇の使い方(リカバリー経験)



プログラム

●全7回、9日間のプログラム

第1回(1泊2日:2013年5月下旬)

参加組織の問題意識の共有／企業事例紹介／目標設定

第2回(1日:2013年6月下旬)

リスク及び職場資源の洗い出し、アセスメント

実践課題

第3回(1日:2013年8月下旬)

リスク軽減策と職場資源の活用方法／人材マネジメントの視点／
効果測定／行動計画策定ポイント

実践課題

第4回(1日:2013年9月下旬)

グッドプラクティスの共有／従業員参加型ワークショップ体験

実践課題

第5回(1日:2013年11月上旬)

行動計画発表会

実践課題

自組織で行動計画の実践(3ヶ月)

第6回(1日:2014年2月中旬)

中間進捗発表／健康いきいき職場づくりに関する最新情報

実践課題

自組織で行動計画の実践(4ヶ月)

第7回(最終回、1泊2日:2014年5月下旬)※第2期と連動して開催

1年間の成果発表／組織学習／第2期に対するメッセージ

※各回の進行は、情報提供や問題提起等の講義と、参加者同士のグループワークをバランスよく取り入れます。

※各回、研究会の場で得た知識、考えたアイデアをもとに、職場に持ち帰る「実践課題」があります。

健康いきいき職場づくりフォーラムとの連動

この研究会は、「健康いきいき職場づくりフォーラム」の事業活動の一環として実施いたします。研究会で得られた知見は、参加組織の同意を得た上で、フォーラム内に蓄積され、また必要に応じて会員または一般に公開されます。同時に、この研究会にはフォーラムの諸活動で得られた知見が還元されます。この研究会はフォーラム活動と連動し、双方に価値をもたらそうと考えておりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

健康いきいき職場づくりフォーラムに関する詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.ikiiki-wp.jp>

プログラムの詳細

第1回(1泊2日:2013年5月下旬)

プログラム	内容
オリエンテーション	事務局より、本会の目的、目標、進行方法、全体像などをご説明いたします。
情報提供 ・新しいメンタルヘルスケアへの取り組みについて	コーディネーターより、健康いきいき職場づくり、ポジティブアクション、海外最新動向などをキーワードに講義いたします。
参加企業の問題意識、実情の共有	事前課題に基づき、自社について各参加者より語っていただきます。
企業事例紹介	既に先進的取り組みを行い、一定の効果が得られている企業の担当者をお招きし、実践について伺います。
グループ討議 テーマ「健康的で生き生きとした職場とは？」	ワークショップ形式でテーマについて対話します。
ペアワーク テーマ「目標設定」	同組織からの参加者とペアで、「研究会を通じてどのようなことを目指すか」という目標設定を行い、相互に共有します。

第2回(1日:2013年6月下旬)

プログラム	内容
情報提供 ・心理社会的リスクの特定と評価の方法 ・今ある経営慣行や従業員支援の内容の整理 ・職場のストレス度可視化の方法	コーディネーターより、職場の心理的リスクの洗い出しのために現在使われているツールなどを紹介します。そして、そのツールで洗い出されたリスクを評価する際の考え方を示します。また、対策として新しいものを打ち立てるだけでなく、今ある資源に意味づけ(再定義)をし、活かすことも重要であるため、その考え方や事例をご紹介します。さらに社内で従業員に調査などを実施する際の注意点(コペンハーゲンガイドライン)をお伝えします。
グループ討議	情報提供に基づき、グループ毎にどのようにリスクの特定・評価を行うと良いかを議論します。

【実践課題】

- ・自社の心理社会的リスク要因を洗い出し、評価する
- ・今ある経営慣行や従業員支援の内容の意味づけ(再定義)する

第3回(1日:2013年8月下旬)

プログラム	内容
グループ討議 ・宿題の検証	「自社の心理社会的リスク要因」「今ある職場資源」をグループ内で発表し、対策の優先順位を決めます。
情報提供① ・人事・労務、人材開発の視点から、メンタルヘルスケア、職場環境改善をどう考えるか	ゲスト講師をお招きしての特別講義を実施します。 ゲスト講師:一橋大学大学院商学研究科教授 守島基博氏(依頼中)
情報提供② ・対策の効果測定方法 ・行動計画策定のポイント	コーディネーターより、対策の効果測定方法の事例や、行動計画策定の作り方などに関して情報提供をし、メンバー間で意見交換を行います。

【実践課題】

- ・リスク軽減策として自社で考えられることを挙げる

第4回(1日:2013年9月下旬)

プログラム	内容
グループ討議 ・宿題の検証	「リスク軽減対策の発表・共有」をグループ内で発表し、他社からの意見をもらいます。
情報提供 ・職業性ストレス対策に関する取り組みのベストプラクティス紹介	コーディネーターが関わった企業事例等より、ストレス対策でうまく行った事例を紹介します。自社の計画策定において、参考にさせていただきます。
ワークショップ体験 ・職場環境改善のための「従業員参加型ワークショップ」	リスクアセスメントや職場環境改善のためには、従業員参加型で意見を集めながらプランを策定することも重要な方法の一つです。これをワークショップ形式で進める方法を、メンバーが職場に戻って実践できるよう、またメンバー自身が実感を持って進められるよう、体験します。

【実践課題】

- ・行動計画を策定する

第5回(1日:2013年11月上旬)

プログラム	内容
行動計画発表会 ・各社が検討した行動計画の発表 ・質疑応答	今後の行動計画を、各社から発表し、その後、コーディネータや参加者からの質疑に応じていただきます。
懇親会	初回から約半年間を経ての振り返りも含めた懇親会を実施します。

【実践課題】

- ・行動計画に沿って、自社の対策を推進する

自組織で行動計画の実践(3ヶ月)

第6回(1日:2014年2月下旬)

プログラム	内容
中間進捗発表会 ・各社の進捗状況の発表 ・質疑応答 ・相談	当初作成した「行動計画」の進捗状況を発表した上で、実践において困難である点なども含め、相互に相談し合います。
情報提供 ・最新の研究成果等について	コーディネーターより、職場のメンタルヘルスケアや組織活性化などに関する最新の研究成果などを紹介いたします。

【実践課題】

- ・自社の行動計画を必要に応じて修正し、推進する
- ・成果発表会用の資料を作成する

自組織で行動計画の実践(3ヶ月)

第7回(1日:2014年5月下旬)

プログラム	内容
1年間の成果発表会 ・各社の成果発表 ・質疑応答 ・相談	1年間を振り返っての総括を行います。各社が、この研究会に来る前と、現状とを比較して、「何がどのように変わったのか(変わろうとしているのか)」について発表いただきます。
グループワーク	グループ単位で各社の施策と結果の評価をし合います
ペアワーク	同組織のペアで、初回に設定した目標に対してどれくらいの達成状況であるか、話し合います。
情報提供 ・組織学習について	PDCAサイクルを回すことによって得られた知識・経験をどのように組織に根付かせていくかが、今後の課題です。 ゲスト講師をお招きして、お話いただきます。 ゲスト講師:財団法人労働科学研究所 副所長 吉川徹氏(依頼中)

プログラム	内容
第2期に向けてのメッセージ	第1期メンバーの数社の方々より、取り組みにおけるアドバイス、自社の成果、苦労話、今後の課題などをお話いただきます。
懇親会	第1期、第2期のメンバー合同で懇親会を実施します。

【ご注意】プログラム、内容、ゲスト講師等は、諸般の事情により予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。



申込書 FAX

03-3797-7214



お申込み欄 ※必要な個所にチェックしてください。追って事務局よりご参加のご案内をお送り申し上げます

☐ Active Work Place研究会に申し込みます

参加費 ☐ 健康いきいき職場づくりフォーラム会員(協賛) 472,500円(消費税込)
☐ 健康いきいき職場づくりフォーラム会員(組織) 525,000円(消費税込)
☐ 一般 630,000円(消費税込)

☐ Active Work Place研究会申し込みと同時に、健康いきいき職場づくりフォーラム会員に申し込みます
(会員種別: ☐ 協賛会員 ☐ 組織会員 ☐ 個人会員)

組織情報 ※ご請求書等お届け先をご記入ください

組織名		
ご担当者様お名前	ご所属	お役職
ご住所 〒 -		
お電話番号 -	FAX番号 -	
従業員数 人	業種	
健康いきいき職場づくりフォーラム会員ですか?	☐ はい	☐ いいえ
健康いきいき職場づくりフォーラムメルマガ配信を希望されますか?	☐ はい	☐ いいえ

ご参加者様情報(お一人目)

お名前
ご所属
お役職
お電話番号(上記と異なる場合) -
FAX番号(上記と異なる場合) -
E-mail

ご参加者様情報(お二人目)

お名前
ご所属
お役職
お電話番号(上記と異なる場合) -
FAX番号(上記と異なる場合) -
E-mail

お申込前にご確認ください

- ・本研究会は組織単位でのご参加のみお受付しております。個人の方のご参加はいただけませんので、予めご了承ください
- ・本研究会の様子は主催者により映像・音声・写真等に記録させていただく場合がございます。情報の公開が場合は対象者の許可をいただきます。

ホームページ URL

<http://www.ikiiki-wp.jp>

お問い合わせ

「健康いきいき職場づくりフォーラム」事務局
公益財団法人 日本生産性本部
メンタルヘルス推進センター内
住所 〒 150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1
TEL 03-3409-1127 FAX 03-3797-7214

個人情報保護方針

下記の「個人情報の取り扱い」について同意した上で申し込みます。

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、日本生産性本部ホームページ(<http://www.jpc-net.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込まさせていただきますようお願いいたします。
2. 個人情報は、「Active Work Place 研究会」の実施に関わる資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
3. 「Active Work Place 研究会」の実施に関して必要な範囲で資料を作成し、当日講師等の関係者に限り配布させていただきます。但し前述の場合および法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
4. 案内状や参加証、テキストの送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、「Active Work Place 研究会」事務局(TEL 03-3409-1127)または日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口(TEL 03-3409-1112)までお問合せください。【責任者:個人情報保護管理者(総務部長)】
6. お申込書に個人情報を記入するかどうかはご本人の自由です。ただし、必要な個人情報が不足していた場合は、当本部からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
7. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。